

2024年度 幼保連携型こども園教育・保育要領に基づく自己評価

法人名	社会福祉法人照治福祉会	園名	清水認定こども園
-----	-------------	----	----------

ま と め 全体平均

3歳児以上児保育	異年齢クラスの4クラス編成のため、同じようにやらなければならないという概念があったが、少しずつクラスの個性を大切にしつつある。子どもの思いと職員の思いを共有しながら「みんな違ってみんないい」の精神で教育保育を進めていけるようにしていきたい。
教育及び保育の実践に関する配慮事項	法人の公開保育の振り返りを行ったり、公認心理師を招いて子どもについての話し合いをしたりするが、子どもにとってどう向き合っていくかを共有する時間がまだ足りない部分があり。意見交換をする時間を多く持ち、職員同士も認め合えるようにしていきたい。
健康・安全	安全安心な環境が一番重きををおく事であるため、職員全員が同じ意識を持つことが大切と考えている。いくら良い教育保育をしていても安全面で疎かになってしまえば大きな問題となるため、お互い共通認識をして子どもたちが過ごせる場面を作っていくようにしていきたい。
子育ての支援	「一人ひとりの保護者を尊重しつつ、ありのままを受け止める受容的態度」が園に求められている。傾聴、寄り添いによって信頼関係の構築を丁寧に進めていく事を大切にしている。在園の子どもだけでなく地域の子どもを育てる家庭に必要とされる園を目指していく。
職員の資質向上	法人間での公開保育や園内での公開保育後に職員同士で振り返りを行うことで様々な新しい気付きや見落とししていた部分、発見などがあり職員のモチベーションは上がっている。子どもの主体性とともに関員の主体性を高めていきたい。ルールが多い、自由にできないといった風潮を感じるため、意識改革をしていく必要がある。
総合	開園して今年で5年目に入り、当園の教育保育の方針も職員が意識して取り組めるようになってきた。内容に関しても高い評価を得ているが、職員同士のコミュニケーション不足であったり意識の違いで思いが食い違ったりする面があるので、互いが認め合い受け入れる気持ちを持てるようにしていきたい。また、毎年事業計画を見直すことで、子どもたちにとってより良い環境を考えるとともに、地域事業にもさらに力を注ぎ、地域の核となる園になるよう精進したい。

データ表			データグラフ					
内容	項目数	平均		1	2	3	4	5
3歳児以上児保育	53	3.92	3歳児以上児保育					3.92
教育保育の配慮事項	6	4.31	教育保育の配慮事項					4.31
健康・安全	29	4.27	健康・安全					4.27
子育ての支援	16	4.06	子育ての支援					4.06
職員の資質向上	9	4.25	職員の資質向上					4.25
計	113	4.15						